



報道関係者各位

2024年5月31日

一般社団 netom

宮城県よろず支援拠点

プレスリリース

東松島から全国へ発信！ 竹の環境問題を解決する「いかだ炭」 全国ネットワークの取り組みに向けて シンポジウムを東松島市で開催

一般社団法人 netom(ねっとむ)は、来たる 2024 年 6 月 29 日(土)、宮城県東松島市・野蒜市民センターにおいて「いかだ炭シンポジウム」を開催します。

当法人が松島湾の牡蠣養殖場から発生する竹廃材を炭焼きにより資源化する「いかだ炭プロジェクト」を開始してから、この春で丸4年を迎えました。

コロナ禍を乗り越えた現在、今後さらにこの活動を発展させ、また全国的なネットワーク構築を目指し、東松島市とともに「いかだ炭シンポジウム」を開催することとなりました。

松島湾における牡蠣養殖で竹は欠かせない材料ですが、老朽化した竹の切り替えで毎年4万本程度の竹廃材が発生、焼却処分しています。

この課題解決に立ち上がったのが一般社団法人 netom(ねっとむ)です。廃材となる前の使用済みイカダ材を高速炭焼き法(PAT.5898130)などで竹炭として生成し、地域の課題解決する取り組みが2020年宮城教育大学自然地理学研究室を中心にスタート。同年から取り組みを周知・拡大するため「いかだ炭プロジェクト」がスタートしています。

竹廃材を炭化することで廃棄物の減量だけでなく、環境の改善(竹炭の土壌改良効果、脱臭効果、浄水機能等)、炭素固定による温暖化の防止とネットゼロ達成、SDGs、環境教育を目指し、この活動を松島からスタートし、全国への拡大を目指します。

※いかだ炭プロジェクトとは

“いかだ炭作り”を体験するワークショップをはじめ、廃棄・焼却される廃竹を竹炭として生まれ変わらせ再利用するという活動です。

竹炭(いかだ炭)づくり体験、いかだ炭で牡蠣等を味わう BBQ、船で海からの牡蠣養殖場見学、牡蠣生産者との交流など、ワークショップを延べ50回以上開催してきました。

松島湾の地域の問題解決、さらには地域&地球の課題でもある CO2 排出削減をこどもから大人まで、また親子でも体験、学ぶことが出来る体験型循環教育イベントです。

昨年は教員向け、小学生向け等、定期イベント以外にも個別での地域環境学習研修としても開催いたしました。



↑これまで開催したワークショップの様子



↑竹フォーラム(竹イノベーション研究会)での講演

↑小学生、教員向け研修の様子

◎シンポジウム開催概要

名称： いかだ炭シンポジウム

日時： 2024年6月29日(土)13:00-16:30

会場： 東松島市野蒜市民センター

概要：

- ・開催にあたって
- ・主催者挨拶及び趣旨説明
- ・いかだ炭プロジェクトの概要ーこれまでの取組みと成果ー
- ・地域からの期待と要望

- ・東松島市から
 - ・パネルディスカッション
 - ・総合討論
 - ・特別講演「広島における牡蠣養殖と竹利用(仮題)」
- その他： ブースでの活動紹介

◎主催者(代表:宮城教育大学 西城潔)からのメッセージ

廃材処分だけでなく、それを炭にして環境改良や炭素固定に役立てて、こうした活動を通じて子供や若者の環境教育に貢献すべく活動してまいりました。今後は、この活動を発展させ、また全国的なネットワークを構築したく「いこだ炭シンポジウム」を別紙要領により開催することとなりました。

数年前に奥松島を訪ねた際、あちらこちらに牡蠣養殖に使われた竹の廃材が山積みになっているのを見て「この竹はこの後どうなるのだろう？」との疑問を抱き、炭焼きによる資源化を思いつきました。

燃焼時のダイオキシン発生の有無、できた竹炭の特性についての検討を重ねた結果、廃材どころか貴重な資源として活用できることがわかってきました。また人類にとっての急務ともいえる気候変動対策にも有効です。

※「いこだ炭」(商標登録済)は高速炭焼きが可能な阿部式炭焼法(pat.5898130)で作られる竹炭のことです

◎本リリースについてのお問い合わせ先

一般社団法人 netom PR・事務局 柴田
E-Mail: ikadatan2022@gmail.com

◎活動の様子



-Instagram: ikadatan (【いこだ炭プロジェクト】)
<https://www.instagram.com/ikadatan>



-Facebook: 一般社団法人 netom いこだ炭プロジェクト
<https://www.facebook.com/takesumiyaki>

◎参考資料 いかだ炭パンフレット



松島湾の牡蠣養殖で発生する竹炭材の再生プロジェクト



いかだ炭プロジェクト

いかだ炭を利用することは、産業廃棄物の削減、気候変動対策としての炭素固定(カーボンマイナス)にもつながります。



できるまでの流れ

いかだ炭とは、牡蠣養殖用・養殖後で使用した竹炭材を特許取得の炭焼き法で焼いた竹炭です。



※1 産廃処理業者様 ※2 株式会社いかだ炭

すごいところ



いかだ炭は通常の竹炭に比べ、微孔(小さい穴)に富み、優れた効果をもたらします。

高い脱臭効果

イソ吉草酸(汗臭・足臭・加齢臭)については約2倍の脱臭効果が認められました。
(※分析:日本食品分析センター)

優れた燃焼特性

発熱量が4%大きく、煙が出にくいです。
(※分析:飯田県産業技術センター)

繰り返し使えて

薬でとるのや、人にも地球にも優しいサステナブルな素材です。



いかだ炭の使い方



下足入れや靴の中に入れると脱臭効果が得られます



花瓶に入れるとぬめりが減るなど水質浄化効果が期待できます



鉢植えや花壇に使うと肥料や水分の保持、保温・雑草防止の効果があります

製造・販売

いかだ炭プロジェクト 宮城県東松島市大塚長浜143
Email: ikadatan2022@gmail.com @ ikadatan

◎参考資料 ワークショップ募集案内

全10回土曜日 10時~13時
※平日時は変更となる場合がございます

2023 7/29 9/30 10/14 11/4 11/18 12/9
2024 2/3 3/9 4/6 5/11

いかだ炭学校
竹炭づくりワークショップ
～楽しく考えるSDGs～

申し込みはコチラから！
お申込みお問合せ E-Mail: ikadatan2022@gmail.com

竹炭を使った、いかだ炭ワークショップを通して楽しく地域&地球環境を考えよう！
松島湾のかき養殖場からは、年間4~5万本の竹炭材が発生しています。これらの炭材がゴミ(廃棄物)として処分されていくのはもったいない。炭焼きによって竹炭化(資源)できないかと私たちは考えました。他にもどんな良いことがあるか、一緒に考えてみましょう。

PROGRAM

- 1時間目 竹による竹炭づくり
ゴミが資源に生まれ変わる！
- 2時間目 いかだ炭でミニBBQしよう！
炭火焼で旬の食材を味わおう！
- 3時間目
内容は開催日によって異なります
Instagram Facebookをチェック!!

プログラムを通して学べること

- 地域の産業について
- 環境や気候変動、炭素固定について
- SDGsの実践

開催日程

全10回 土曜日 10:00-13:00
2023年 7/29 9/30 10/14 11/4 11/18 12/9
2024年 2/3 3/9 4/6 5/11

場所 netom 炭化基地 (東松島市大塚長浜143)

参加費 大人 3,000円 高校生・大学生 1,000円 子ども(~中学生) 500円

持ち物 ●軍手 ●水分補給できるもの ●動きやすく汚れても良い服装

主催 一般社団法人 netom 協賛 宮城県東松島市教育委員会

お申込みお問合せ E-Mail: ikadatan2022@gmail.com

申し込みはコチラから！ Instagram @ ikadatan Facebook ikadatan

竹炭ワークショップはSUNTORY東洋サンキョウプロジェクト(第3期)の協力を受けています
いかだ炭は牡蠣養殖場での発生廃材利用の目的で作られたシリアル竹炭です(炭素固定量約1.599t/130)